

2008年 7月19日(土) ~ 9月23日(火・祝日)

進化学の世界

— ダーウィンから最先端の研究まで —



8/20-9/8 シーラカンス公開
(提供：東京工業大学)



今回の特別展では、「進化説への道程」、「進化の証拠」、「進化のメカニズム」のコーナーで現代の進化説について理解していただけるような展示・解説を行います。

また、「動物の進化」、「植物の進化」、「多様な進化」のコーナーでは実際の生物進化について、駒場博物館の所蔵品を中心に、できるだけ実物を用いた展示で進化を実感していただく予定です。特に「多様な進化」では、駒場キャンパス内で行われている最新の進化研究の成果も展示されます。最新の研究にふれることができます。

会期中には日本進化学会の協力による公開講演会や展示説明会も開催されます。日程については駒場博物館のホームページ <http://museum.c.u-tokyo.ac.jp/> をご覧ください。

生物の持つ特性はさまざまありますが、「進化」する能力は生物の重要な特性の1つです。生物進化についての学説は、ダーウィンの時代より数多くの研究者の寄与により発展し、今や、不確実な「進化論」ではなく、理論構築と実証研究により支えられている確固たる「進化説」となっています。2009年のダーウィン生誕200周年、および「種の起源」出版150周年をひかえ、駒場博物館では、2008年夏休み企画として7月19日(土)~9月23日(火・祝日)まで、特別展「進化学の世界—ダーウィンから最先端の研究まで—」を開催します。

①第一高等学校の骨格標本 アオダイショウ
②化石レプリカ プテラノドン (スミソニアン博物館寄贈)



第10回日本進化学会大会 一般公開情報 (場所：駒場 I キャンパス 13号館)

- ・公開講演会 日時：8月23日(土) 13：00~16：10
 - ・進化学/夏の学校
 - ①8月23日(土) 09：00~11：30 成瀬 清「メダカの生物学—発生、遺伝、進化から環境科学まで—」
 - ②8月24日(日) 09：00~11：30 河田 雅圭「地球環境変化と進化学」
 - ③8月24日(日) 13：00~15：00 田村浩一郎「MEGA4による分子系統解析」
 - ④8月24日(日) 15：15~17：15 矢原 徹一「植物の生態学」
- ※進化学/夏の学校は日本語で講演を行います。高校生や一般の方の参加も歓迎します。
※くわしくは下記をご参照ください。期間中に高校生のポスター発表も行われます。
<http://www.sendou.soken.ac.jp/esb/esj2008/>